



選ばれ続ける都市実現予算



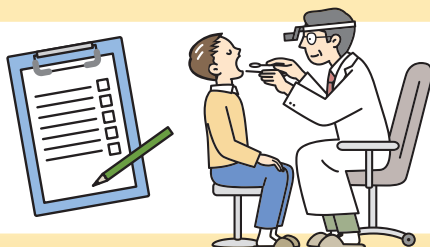
市民の皆さんの思いをかたちにし、「選ばれる都市」であり続けられるよう、市は8年度もあらゆる課題に継続的に取り組んでいきます。重点的に取り組むこととしている施策のうち、特に市民の皆さんの生活に身近である取組を中心に紹介します。

子育てがしやすく、子どもたちが安心して学べるまちへ

小児医療費の助成
対象を拡充します

73億8,789万円

小児医療費助成の対象年齢などを拡充し、高校生年代までをサポートします。



体育館の空調を
整備します

4億2,070万円

3年後の11年度末までに全ての市立学校体育館に空調設備を設置することを目指し、スピード感をもって取組を進めます。



これからも安全で快適に暮らせるまちへ

防犯カメラの
設置を拡充します

9,512万円

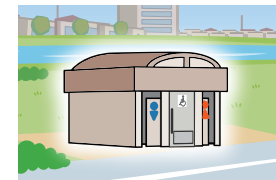
犯罪の発生を防ぎ、さらなる安全・安心なまちづくりに向けて、防犯カメラの整備と、町内会・自治会などへ設置費補助の取組を進めます。



多摩川河川敷のトイレを
リニューアルします

1億3,000万円

多摩川河川敷の利便性向上のため、トイレの整備に取り組みます。8年度は丸子橋周辺エリアに6棟を整備します。11年度までに計28棟の整備などを実施する予定です。

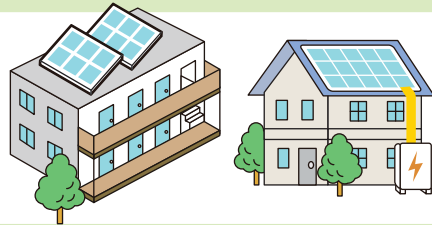


環境に優しいまちへ

太陽光発電などへの
補助をさらに充実
させます

7億2,000万円

脱炭素社会の実現に向け、
太陽光発電設備・蓄電池な
どの補助制度の対象を個人
住宅だけでなく共同住宅に
も広げています。



プラスチック資源の
回収を市内全域に
拡大します

15億6,576万円

今まで「普通ごみ」として収集・焼却していた
「プラスチック製品」を「プラスチック製容器
包装」と一緒に「プラスチック資源」として
4月から収集してリサイクルしています。
併せて処理施設の改修などを行います。



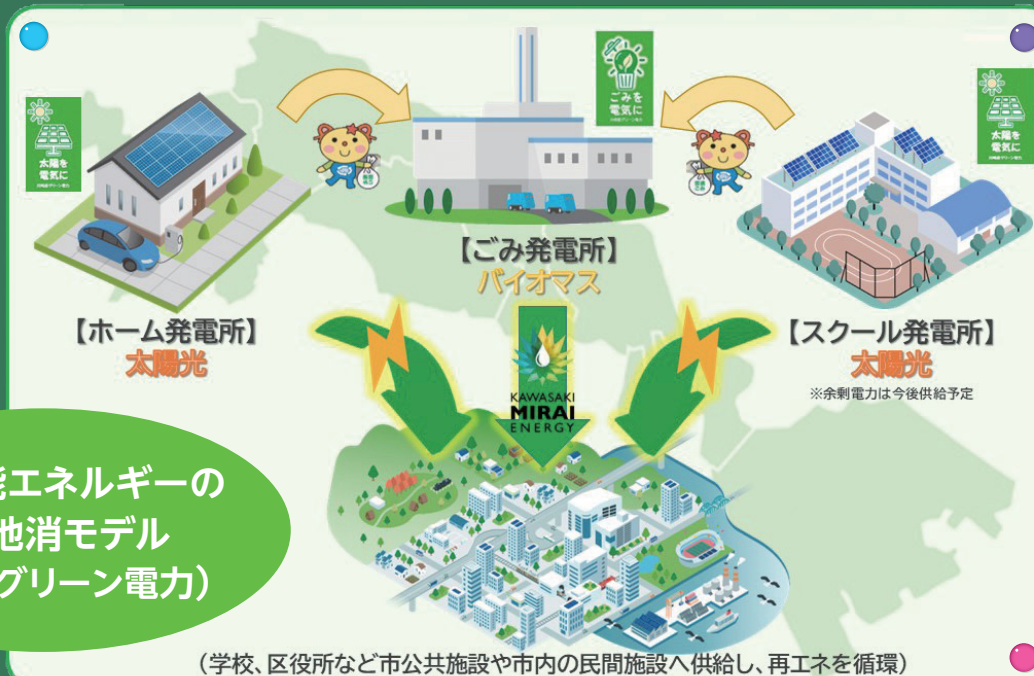
プラスチック資源

\ PICK UP /

地域でつくり、地域で使う エネルギーの地産地消の 取組

市内で作られた地球にやさしいクリーンな電気
(再生可能エネルギー) を、地域エネルギー会社
を通じて、学校や等々力緑地のスタ
ジアムなどに供給することで、
エネルギーの地産地消に取り
組んでいます。

再生可能エネルギーの
地産地消モデル
(川崎産グリーン電力)



月 日 曜 日 直